

## 第31回日本毒性病理学会 研究発表のご案内

<ポスター発表>

II 神経・感覚器 21月30日(金) 11:15 - 12:15 ポスター会場

演題番号: P-08 ○福永 八千代 (当社含む1社1機関\*による共同研究)

演題名: 眼球腫大が認められたスナネズミの眼組織及び視覚中枢の病理学的変化

概要:

スナネズミは、脳梗塞/虚血・てんかん・感染症など、様々な分野の研究で用いられております。spontaneous な眼球病変に関する知見は乏しいなか、今回、片側性に眼球が腫大した症例5例を検索する機会を得ました(4ペアのMG-W近交系スナネズミをもとに自家繁殖された合計離乳仔数686匹のうちの5匹)。それらの眼球で認められた緑内障を疑わせる変化に加え、中枢神経で認められた組織学的変化についてもご報告いたします。

\* (株)ボソリサーチセンター、国立医薬品食品衛生研究所

III 免疫系・毒性試験 1月30日(金) 13:45 - 14:45 ポスター会場

演題番号: P-17 ○伊倉 佐織

演題名: 幼若ラットにおけるDXR (doxorubicin hydrochloride) 投与後の経時的変化

概要:

DXRは骨髄毒性を有することが知られており、成熟動物の毒性は多数報告がありますが幼若動物についての報告は極めて少ないのが現状です。3週齢の雌雄CrI:CD(SD)ラットにDXR 5 mg/kgを単回尾静脈内投与後、3、24、48及び96時間に深麻酔下で採血し安楽殺した後、組織を採取し血液学、骨髄検査、病理組織学検査を行いました。造血器及びリンパ系組織の経時的変化を血液学、骨髄検査の結果と併せてご報告いたします。

VII 上部消化器 1月29日(木) 17:15 - 18:15 ポスター会場

演題番号: P-34 ○中澤 朋美

演題名: ラットの臼歯脱灰標本を用いた自然発生性の齲蝕の検討

概要:

ラットでは臼歯に齲蝕があることは一般に知られており、毒性試験においてもときおり齲蝕が原因と思われる臼歯の欠落に遭遇します。しかし、自然発生性の臼歯の齲蝕に関する報告は少ないため、一般毒性試験に用いる週齢のラットにおいて自然発生性にみられる齲蝕の組織像(脱灰、ヘマトキシリンエオジン染色)及び週齢ごとの発生頻度について検討いたしました。

XVI 生殖器・乳腺 1月29日(木) 17:15 - 18:15 ポスター会場

演題番号: P-82 ○山口 裕子

演題名: B6C3F1マウス雌生殖器の性周期別組織像

概要:

マウスを用いた反復投与毒性試験あるいは生殖発生毒性試験は非常に少ないのが現状です。そのため、マウスの雌生殖器の性周期に伴う組織像の詳細な報告も多くありません。我々は、性周期を膣を基準にして、発情前期、発情期、発情後期(前半、後半)、発情休止期に分類しました。15~19週齢の各性周期における卵巣、子宮、膣の組織像の変動を、膣スミア像及びラットとの違いもふまえてご紹介いたします。

演題番号: P-95 ○高木 みづほ

演題名: Ishibashi rat (ISR)にみられた脊椎病変の病理組織像

概要:

Ishibashi rat (ISR)は、自然発生性の心室中隔欠損(VSD)と共に腰-仙移行部に脊椎の先天性脊椎後側弯症が高確率に起こる系統であることが知られています。その一方で、罹病動物の脊椎病変部の病理組織像を詳細に示した報告はありません。本研究では、ISRの脊髄病変部の病理組織像をご報告いたします。

(以上、全て筆頭発表者のみ掲載)



株式  
会社

ボゾリサーチセンター